

多摩川を歩く ⑪ 最終回

日時：2018年9月22日（土）～23日（日）

22日 天候：晴 23000歩 約15km

23日 天候：晴ときどき曇 31000歩 行動時間8時間50分

集合：JR青梅線奥多摩駅10時30分

コース：22日 奥多摩駅（バス）→丹波山温泉→道の駅「たばやま」→三条新橋→おいらん淵→三ノ瀬（民宿みはらし泊）

23日 三ノ瀬→中島川口登山道入口→黒エンジュ分岐点→水干尾根分岐点→水干→水干尾根分岐点→笠取山→鷹峠分岐点→笠取小屋→鷹峠分岐点→鷹峠→新地平（バス）→山梨市駅

参加者：熊坂（L） 高橋紀（SL） 清水 河野 市村 山田 畠 計7名

猛暑の2017年7月12日、小島新田駅に集合して多摩川河口を見極め、上流へ上流へと源流水干をめざして1年2ヵ月10回コースで歩いてきました。最終回の参加者は7人。

1日目は、道の駅「たばやま」を12時30分に出発して、アスファルトの上り道を15km歩いて民宿に一泊。2日目は、民宿を7時10分に出発して10時15分に水干に到着、神奈川ウォーキングクラブの旗を掲げて記念写真を撮りました。標高1953mの笠取山山頂を踏破して、16時丁度に新地平バス停へ下山しました。



JR青梅線奥多摩駅～（奥多摩湖）～（峰谷橋）～道の駅「たばやま」

多摩川を歩く10回のウォーキング、延期なしで決行してきました。しかし最終回の8月11日は、台風の影響のため延期になり9月22日の実施となりました。秋雨前線が心配されましたが、晴れて天候にも恵まれたウォーキングとなりました。

奥多摩駅に降りました。このシリーズの7回目、御嶽駅から歩いて奥多摩駅ゴールのコースできて以来、奥多摩駅が起点でのウォーキング。この駅に帰ってくるとアットホームな気持ちになります。しかし、今回は奥多摩駅には戻りません。そのような目で見るとなおさら趣のある終着駅です。関東の駅百選にも認定されています。

11時のバスに乗車、乗客20人位か。お祭りバス停で、私たちともう一人を除いて全員下車、雲取山山行のようです。車窓からの景色は8回から10回で歩いたコースで「峰谷橋で記念写真撮った」「ここで雨宿りした」などの声が聞こえます。定刻の11時47分に丹波山温泉バス停着、道の駅「たばやま」で昼食をとりました。



道の駅「たばやま」～青梅街道～林道一ノ瀬線入口

地図で見ると標高630mの道の駅「たばやま」、空きスペースで熊坂リーダーのコース説明、サブリーダーは高橋さん、ストレッチをして12時30分スタート。一泊山行の荷物を入れたリックの重さは8kg。普段のウォーキングの倍の重さか、10kg位と思われる人も、重さがが肩にかかります。

青梅街道を歩きます。民家の庭先には金木犀、柿の木には実がなり秋の気配を感じます。丹波バス停、ここがバスの終点です。左手遠くに丹波中学が見えました。ここからしばらく歩くと家は見えず人にも会いませんでした。この道は「大菩薩ライン」と呼ばれているようです。ススキも見頃です。先頭を歩くリーダーの影で分かるようにひたすら西方向へ上ります。ところどころで「一級河川多摩川」の標識を見かけました。

陽が当たるところでは暑さがこたえます。日陰やトンネルの中はホッとする時間です。30分間隔で水分補給の立ち休憩、自動車が行きかう青梅街道をひたすら上り、14時52分に林道一ノ瀬線入口に到着しました。



林道一ノ瀬線入口～一ノ瀬川沿いウォーク～三ノ瀬民宿「みはらし」

林道入口のところには、「一ノ瀬高原入口へ6km」の看板が立っています。民宿3軒が表示されていますが現在も営業しているのは「みはらし」だけとのこと。1日目は15kmの予定ですから2時間22分で上り道を9km歩いたこととなります。

水分補給をして、青梅街道に別れを告げて多摩川の本流一ノ瀬川沿いの林道を歩きます。林道と言ってもアスファルト舗装の上りで勾配もきつくなりました。山側が石積みされていて苔が覆っている緑の素敵な道が300mぐらい続きます。「いつ頃積まれたのだろう」と話しながら緑を楽しみました。

上り勾配のアスファルト道、トレッキングシューズの重さと暑さが堪えます。「ここはウォーキングシューズの方が楽ね」と言いながら歩きます。ずっと人家見当たらず、オートキャンプ場でやっと人を見かけました。二の瀬を通り、16時55分三ノ瀬の民宿「みはらし」に到着。標高1270m、640m上りました。



ご褒美のお風呂～田舎料理の夕食～清水先生のストレッチ教室

民宿は80歳超えのおかみさんが一人で切り盛りしています。冬場民宿を閉めているときは下の街で子供夫婦と暮らしているとのことでした。

お風呂は入れない予定でしたが、木の風呂桶ふたつに、まきでお湯が沸かされていました。大きなたらい桶が用意されていて水道水が入られています。風呂は熱湯ですので入れず、洗い桶にそのお湯と水を混ぜての身体洗い。窓開け放しの風呂場で汗を流してのさっぱり感最高、この日一番のご褒美でした。

18時から夕食、一日目の健闘をねぎらいビールで乾杯、マスの甘露煮、天ぷら、手作りこんにやく、ヒジキ煮、しめの蕎麦とうどんなど田舎料理がたくさん出されました。風呂から上がった畠さんも加わり再度乾杯。

夕食後、8畳二間の襖をあけて清水先生のストレッチ教室。股関節などストレッチ、足の力を抜いてブラブラなど40分ほど。「男性陣身体硬いですよ」と指導を受けながら身体をほぐしました。

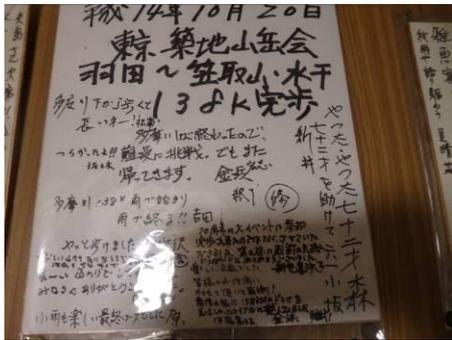


5時起床～朝食～民宿7時10分スタート～中島川口登山道入口

みなさん、朝5時前後に起床して洗面。部屋の壁には「東京築地山岳会、羽田～笠取山水干138km完歩」「多摩川を愛する会、みはらしの回りは花盛り、新緑も美しい、水干祭の春駒踊りもおもしろかった」などと書かれた色紙がたくさん張られていました。

6時から朝食、炒めごぼう、竹の子煮、自家製たくわん、卵に納豆など、美味しくいただきました。昼食用のおにぎり3個、ゆで卵にお茶、それにおせんべいを用意して戴きました。庭にはピンクのコスモスがきれいに咲いていて、畑ではおかみさんがいろいろな野菜を作っているとのことでした。

玄関先で記念写真、7時10分にスタート。みなさん、昨日の入念なストレッチと十分な睡眠で快調のようです。上り道のアスファルト林道を歩き、中島川橋のところまでストレッチをして、熊坂リーダーからコース説明を受けます。さらに林道を上り、7時50分に中島川口登山道入口へ到着。



中島川口登山道入口～馬止り～シラベ尾根分岐～水干尾根分岐～水干

中島川口登山道入口から、林道を離れていよいよ水干まで5kmの本格的な登山です。熊坂リーダーを先頭に最後尾は高橋サブリーダー、土の感触が何とも懐かしいです。ふかふかな落ち葉が足に優しい杉林を上ります。800m歩いて「馬止り」の標識、「ここから急峻な狭い道になるから馬止りなのかしら」と話しながら、水分補給。

私たち以外は誰も歩いていない山道を黙々と上ります。沢に架かる木橋のところで写真を一枚。9時19分に黒エンジュ分岐。9時40分にシラベ尾根分岐、水干まであと1kmの標識、ここらあたりから白樺に似ているダケカンバの木や笹が多くなります。10時05分に水干尾根分岐、水干まで0.3kmの標識に元気が出ます。

左下は深い溪谷で、幅1mもない道を注意深く歩きます。10時15分、ほぼ想定タイムで多摩川の源流水干（標高1865m）に到着。熊坂リーダーは源流の滴る一滴を写真におさめようとスマホをかまえています。神奈川ウォーキングクラブの旗を掲げてVサインで記念写真。私も記念の写真を1枚撮ってもらいました。



水干～水干尾根分岐～シラベ尾根～笠取山（標高1953m）

多摩川の東京湾河口から源流の水干まで138kmを踏破し、次は笠取山をめざします。水干尾根分岐に戻りシラベ尾根に向かいます。上りが急峻になりガスってきました。山頂直下はよじ登るような険しさです。山田さんがカメラに向かって万歳ポーズをとってくれました（もちろん安全な足場のところですよ）。10時58分、山梨県と埼玉県の県境の笠取山山頂に立ちました。笠取山は、この日のコースの最高峰で標高1953m。標識を真ん中に記念写真を1枚、みなさん達成感いっぱいの良い顔をしています。



笠取山～岩場の尾根道～山梨百名山の笠取山～分水嶺～笠取小屋

笠取山山頂から岩場のアップダウンが多い尾根道を歩きます。1カ所、岩につかまりカニの横歩き状態、下は深い急斜面、リックの重さで重心が後ろに。3番手で歩き終えましたが、ホッとして後続の写真を撮らずじまい。笠取山には山頂が二つあり、山梨百名山の笠取山山頂へ、ガスっていましたが一息入れている間に取れて、この日一番の眺望を楽しめました。スキーのゲレンデのような斜面を下り、小さな分水嶺へ。この峰の東側に降った雨は荒川に、西側は富士川に、南側は多摩川となります。12時15分に笠取小屋に到着、昼食をとりました。



笠取小屋（標高1776m）～鷹峠分岐～鷹峠～沢渡り～新地平

民宿のおかみさんが作ってくれたおにぎりを美味しくいただいて、想定時刻の12時45分に標高1776mの笠取山をスタート。まずは来た道を10分ほど戻り、鷹峠分岐から鷹峠へ、「新地平へ6.5km」の標識がありました。

ここからは、ひたすら下りです。リンドウの写真を一枚パチリ。しばらくしてからは沢浴いを下ります。ところどころ道が途切れているのかなと思うところもあり、目印の赤いテープを探して下りました。十数回の沢渡り、水が増水していて渡りやすいところを探すのに少し時間を要しました。トレッキングシューズを水に浸けての沢渡りも数ヶ所ありました。

スキのみちを通り、木橋を渡り、林道に出てホッと一息です。想定時刻少しオーバーの16時丁度に新地平バス停に到着。ストレッチをして16時28分発のバスを待ちました。



新地平バス停～山梨市駅～オプション石和温泉へ&車内アフター組

新地平バス停を16時28分のバスに乗車、かなり混んでいて、山田さんと畠さんはみなさんに席を譲り、終点の山梨市駅までバスに揺られての乗車でした。バスはメインルートを走りながら下ります。時折左に右に曲り集落を経由。17時23分に山梨市駅に着きました。

熊坂さん、清水さん、河野さん、山田さんは、石和温泉でオプションの宿泊、「温泉に入ってカニ食べ放題」と楽しそう。高橋さん、畠さん、市村は、電車内アフター用のビールなどを購入して、電車待ち。16時44分発の上り電車少し遅れて到着。7人乗りこみ、車内アフター組はBOX席で乾杯。二つ目の塩山駅を過ぎて、宿泊組が「電車下りで二つ目の石和温泉駅だった」と言って、下り電車に乗るため次の駅で下車。カニ食べ放題間に合ったでしょうか。



多摩川の源流「水干」&笠取山をめざして、不安と期待が入り混じるなかでの初めての一泊山行でした。「水干」とは、「沢の行き止まりで、最初一滴が染み出す場所」です。最終回参加されなかった人の思いも背負って、熊坂リーダーを先頭に無事踏破し、笠取山の山頂に立ち、無事下山しました。良い天候に恵まれた仲間との「多摩川を歩く最終回」、楽しい2日間でした。熊坂リーダーお疲れさま、そしてありがとうございます。

最後の写真は、今回参加者の7人が一緒に写った民宿「みはらし」での写真です。 (いちむら記)